

野池政宏の仕事 2013年版

私の「仕事」を説明するのはなかなか難しい。「仕事＝対価を得る活動」という定義とすれば、私の主な仕事は「講演/講義」「執筆」「企業のお手伝い(商品開発やプロモーション)」「設計のお手伝い」ということになるだろうが、そうした仕事と同じくらいの時間と手間を「お金のことを考えない別の活動」に費やしているし、私にとってそれは趣味とは言えないので、やはりそれも「仕事」になる。前者の仕事を“work”とすれば、後者は“mission”というニュアンスに近い。

<主たる仕事の間>	<概要>	<2013年の動き>
<p>住まいと環境社</p>	<p>1995年に設立した「炭と環境社」という屋号を2003年頃に改名。個人で経営している事務所であり、自分の仕事のマネジメントを自分でやる事務所といった位置づけ。</p>	<p>2013年も仕事の中心は講演/講義になりそう。個別のコンサルタント的な仕事(企業の商品開発やプロモーション、設計のお手伝いなど)も可能な限り受けていきたい。</p>
<p>自立循環型住宅研究会</p>	<p>2006年に設立。代表を務める。自立循環型住宅ガイドラインを軸にした様々な活動を続けてきている。ここ数年間(3・11まで)、私の「missionの場」としてこの会に軸足を置いてきた。</p>	<p>3年ほど続けてきた「自立研アワード」の発展形を考えたい。温熱/省エネに熱心な建築実務者にとって、このアワードを獲得することが大きな目標となるような流れを明確にする。</p>
<p>一般社団法人 Forward to 1985 energy life</p>	<p>3・11以降に“言いだしっぺ”として始めた運動。現在は代表理事。2030年頃までに家庭の電力消費量とエネルギー消費量を半分に削減することを目標に置く。</p>	<p>「暮らし省エネマイスター検定⇒地域アドバイザー拠点」という流れをつくり、拠点のスキルアップを図り、いよいよ本格的/実質的な活動が始まる。今年の大集会は神戸で開催。野池学校は2013年からこの組織が主催運営を行う。</p>
<p>一般社団法人 パッシブデザイン協議会</p>	<p>2011年に発足し、助走期間を経て2012年春に一般社団法人化。私は2012年1月から関わり、現在代表理事。パッシブデザインの普及啓蒙を目指し、講習会の開催や実際的な研究を行う。</p>	<p>パッシブデザインワークショップ(講師:野池)、建物見学、講習会などを開催していく。また「新しい人材の育成/発見」という目的を明確化したパッシブデザインコンペも開催。アイデアコンペにはしない。</p>

暮らし向上リフォーム研究会

私の呼びかけで 2011 年に発足。本質を改善するリフォームを行うべく、モノゴトの本質に切り込んで議論していくことが主旨。現在会員は 15 社。1 年に 5 回ほどの定例会を大阪で開催。

定番メニューとなった、メンバーのリフォーム事例紹介(+議論)を続けていくほか、年度前半の議論テーマとしては「新築か、リフォームか、その判断方法は?」「既存住宅調査法の整理」が挙げられている。

【シリーズ講義】

	目標	回数	開催場所	主催
野池学校	改正省エネ基準を正確に理解し、その先に進むこと	4 回	東京、大阪	(社)Forward to 1985 energy life
パッシブデザイン ワークショップ	建設地の特徴(気温、日照、風など)を把握し、的確にパッシブデザインされた配置計画、基本計画ができるようになること	2 回	東京(決定)、大阪(予定)	(社)パッシブデザイン協議会
野池学校虎の穴	温熱/省エネに関連した内容のすべてをほぼ理解すること。私の仕事を引き継いでもらう人材を育成したい。	未定	未定	未定

※詳細については、それぞれの主催者のホームページをご覧ください

【講義/講演依頼について】

住まいと環境社もしくは野池個人にご連絡ください。日時、内容、講演料などについて打ち合わせていきます。なお、「1 月末には 4 月の予定が満杯になる」といった状況が続いていますので、早い目にご一報いただくのがよいと思います。温熱/省エネ系の内容であればほぼ何でもしゃべることができると思いますが、とくに「自立循環型住宅への設計ガイドライン」については温暖地版、蒸暑地版、準寒冷地版のすべてについて IBEC の認定講師になっています。

【温熱/省エネ系計算プログラムの制作、販売】

21012 年まで野池学校等で無料配布していた計算プログラムですが、2013 年からは操作性を向上させ、マニュアルも整備したものを廉価で販売していく予定です。詳細が決まり次第、ホームページでご案内します。

【企業のお手伝い】

2013 年は講演/講義がさらに増えそうな気配で、どこまでこうした仕事ができるかはわかりませんが、可能な限り受けていきたいと思っています。プロモーション（方針の整理、ホームページやパンフレットの制作、商品企画等）、スタッフのスキルアップ（温熱/省エネ系が中心）などのお手伝いをします。

【ご相談、ご質問への対応】

随時様々なご相談やご質問を受け付けていますので、メールにてご連絡ください。30 分程度でお答えできるものについては無料です。それを超えそうな内容のものについては、お答えする前に「これくらい費用がかかります」というご連絡をします。ただし、「遮熱シートをどう思いますか？」というような漠然としたご質問にはお答えできません。ご質問はできるだけ具体的な内容とし、ご質問の内容を理解しやすくするための情報（たとえば図面や計算結果など）を添えてください。なお、私の PC はすべての CAD データを開くことができませんので、図面データは PDF に変換してお送りください。

【2013 年の大方針】

最後に 2013 年の大方針について述べておきます。

- ・2013 年は改正省エネ基準、認定低炭素住宅に関連した仕事が大幅に増えると思います。この内容は私も高く評価しており、何はともあれこれをしっかり理解して前に進むべきだと考えます。ただし、この内容はかなり奥が深く、時間をかけて理解を進めていく必要があります。また「計算すること」が大幅に増えています。ということで、しっかり計算演習をしながら理解を進める場として「野池学校」を当てます。その内容は 2012 年と大きくは変わりませんが、テーマを絞り、バージョンアップした計算プログラムを使いながら、じっくりと進めていくつもりです。
- ・改正省エネ基準（≒認定低炭素住宅）においてパッシブデザインの重要性が大幅に高まりました。パッシブデザイン全体としては「計算」も不可欠ですが、そちらは野池学校に任せ、気象条件や日照、風といった基本的な要素を把握しながら、配置計画と基本計画までのスキルアップを目指す場として「パッシブデザインワークショップ」を当てます。パッシブデザインにおける「計画力」を身に着けたい人はぜひ参加してください。
- ・1985 アクションはいよいよ具体的なステップを踏み出します。とくに地域アドバイザー拠点になった企業の人たちとは様々な形でコミュニケーションが深まると思います。地域アドバイザー拠点はまさしく「勉強したことを実践し、お客さんと社会に貢献する場」です。腰を据えて、力強く、一緒に進んでいきたいと思っています。
- ・自立循環型住宅研究会で続けてきた「自立研アワード」ですが、この発表者のレベルは相当に高く、さらにアワード受賞者のレベルは「ここまで来れば完成に近い」といったところまで来ています。真面目に温熱/省エネに向かう工務店や設計事務所（私に集まってくれる人たち）が到達するひとつの大目標として「自立研アワードを取る」となる流れをつくっていききたいと思っています。

・ぼちぼち私の仕事を引き継いでくれるような人材を育てていかないとはいけません。私の特徴は（自分で言うのも何ですが）、理学的理解をベースに、マーケティングやプロモーションの発想も持ちながら、人に話言葉で伝える、人に文章で伝える一定のスキルがあることだと思っています。こうしたスキルを身に着けたいと積極的に考えている人に声をかけ、とくに 2013 年からは「温熱/省エネに関する理学的理解を深める」というところをテーマとするような「野池学校虎の穴」を開催したいと考えています。

・私の最後の仕事は「リフォーム」です。新築に比べリフォームは応用力が必要で、そのためには様々な方面についての深い知識と理解、そして整理整頓能力が不可欠になります。こうした場として「暮らし向上リフォーム研究会」を立ち上げ、活発でおもしろい議論を進めています。このような場が欲しいと思っている人は私に声をかけてください。定例会にオブザーバー参加していただき、双方（会と入会希望者）が合意すれば入会することができます。

・おそらくこの 2013 年は私の仕事人生のピークになります。要するに“旬”ですね。理由はともあれこんな状況になったので、最大限の力を発揮して仕事を進めていきます。